

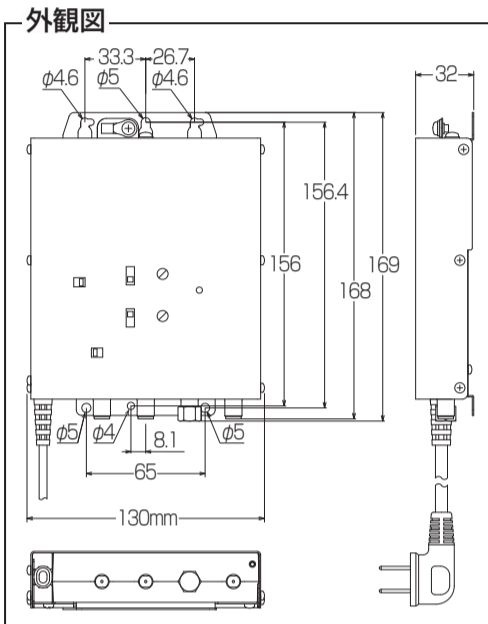
屋内用 FM・V-Low・UHFブースター (共同受信用)

FM・V-Low・UHF BOOSTER
増幅チャンネル
FM・V-Low・UHF
FUA33S
AC100V方式またはDC15V方式

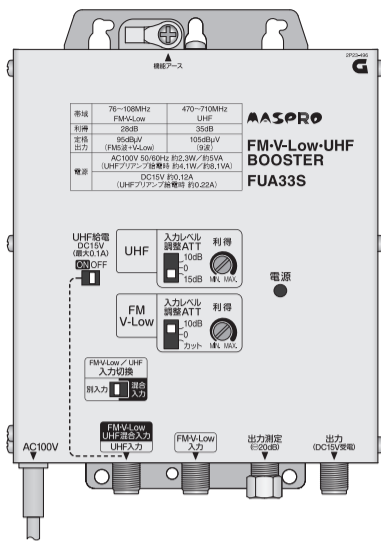
33dB型 DIGITAL デジタル放送対応

DC15V方式で使用するときの電源部
WP1510DCW (別売品)

付属品
木ねじ 3本
ゴムキャップ 1個



取扱説明書



ご注意
設置工事には専門の技術が必要です。
専門の施工業者にご依頼ください。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。

DIGITAL 各種デジタル放送の信号を、より高品質で伝送するために、携帯電話や無線通信などの電波から影響を受けにくい、高いシールド性能を備えた機器へマスプロ電工が表示している信頼のマークです。

規格表

項目	規格	
	FM・V-Low	UHF
伝送周波数帯域	76 ~ 108MHz	470 ~ 710MHz
入力レベル範囲 ※1	46 ~ 77dBμV	43 ~ 85dBμV
標準利得 (利得)	28dB (25 ~ 30dB)	35dB (33 ~ 38dB)
定格出力レベル	95dBμV (FM5波+V-Low)	105dBμV (9波)
入力レベル調整	ATT	0、10dB、カット切換
出力レベル調整	利得	0 ~ 10dB以上 (連続可変)
帯域内周波数特性	3dB以内	5dB以内
雑音指数	5dB以下	3dB以下
相互変調 IM3	⊖72dB以下	⊖71dB以下
ハム変調	⊖60dB以下	⊖60dB以下
漏洩電界強度 ※2	34dBμV/m以下	34dBμV/m以下
出力測定端子結合量	⊖20dB (F型端子)	⊖20dB (F型端子)
VSWR	2.5以下	2.5以下
インピーダンス	75Ω (F型端子)	
耐雷性	JEC : ±25kV (1.2/50μs)、IEC : ±15kV (1.2/50μs)、±1.5kA (8/20μs) のサージ電圧・電流に耐えること	
電源	AC100V 50/60Hz または DC15V ※3	
消費電力	AC100V	約2.3W/約5VA (UHFプリアンプ給電時 約4.1W/約8.1VA)
	DC15V ※3	約0.12A (UHFプリアンプ給電時 約0.22A)
UHFプリアンプ用電源	DC15V 最大0.1A	
使用温度範囲	⊖10 ~ ⊕50°C	
外観寸法	169 (H) × 130 (W) × 32 (D) mm	
質量 (重量)	約0.8kg	
シンボル	▶	

※1 入力レベル調整ATTを最大にしたときの入力レベル範囲です。
※2 3mの距離において。
※3 重量給電時の受電電圧はブースターの出力端子にて13.5V以上となるようにご使用ください。ブースターから電源までの低損失75Ωケーブルの推奨の長さは、以下の通りです。ブースター電源部WP1510DCW使用時の低損失75Ωケーブルの推奨長さ S7CFB、SSCFBの場合：100m以内

マスプロ電工

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80
技術相談 **0570-091119**
ナビダイヤル 固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**
受付時間 9~12時、13~17時 (土・日・祝日、当社休業日を除く)
営業部 TEL名古屋(052)802-2244
インターネット www.maspro.co.jp

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- △記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。
- 記号は、禁止の行為を示しています。
- 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告

- ブースターは、不安定な場所に置いたり、取付けたりしないでください。落下して、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、物や扉で挟んだり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、熱器具に近付いたりしないでください。ACコードが破損して、火災・感電の原因となります。
- ACコードが傷んだ場合(芯線の露出や断線など)、販売店または施工業者に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ブースターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- ブースターに水をかけたり、ぬらしたりしないでください。ブースターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、ブースターの上に乗らないようご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、ブースターおよびケーブル・ACプラグ・ACコードには触れないでください。感電の原因となります。
- ぬれた手で、ACプラグを抜きしないでください。感電の原因となります。
- ブースターのカバーを取外したり、改造したりしないでください。また、ブースターの内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店または施工業者にご依頼ください。
- ブースターを風呂場やシャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一、ブースターの内部に、異物や水が入った場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店または施工業者にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音が出るなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き、煙や臭いが出なくなるのを確認して販売店または施工業者に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- 万一、ブースターを落としたり、破損したりした場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店または施工業者にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACプラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

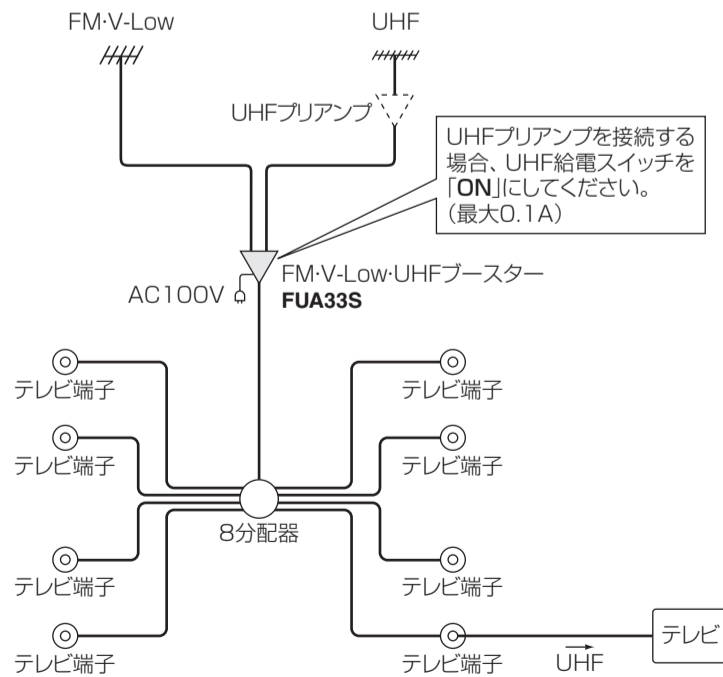
注意

- ブースターをDC15V方式で使用するとき、指定外のブースター電源部を使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- ブースターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ブースターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、グラスウールのような断熱材の上に置いたり、包んだりしないでください。

注意

- ブースターは、温室やサニールームなどの、高温で湿度の高い場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ACコードは、結んだり、束ねたりしたまま使用しないでください。発熱して、火災の原因となることがあります。
- ACプラグをACコンセントから抜くときは、ACコードを引っ張らないでください。ACコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。
- ブースターを移動させる場合、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。ACコードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- テレビ受信工事には技術と経験が必要です。販売店または施工業者にご相談ください。

使用例



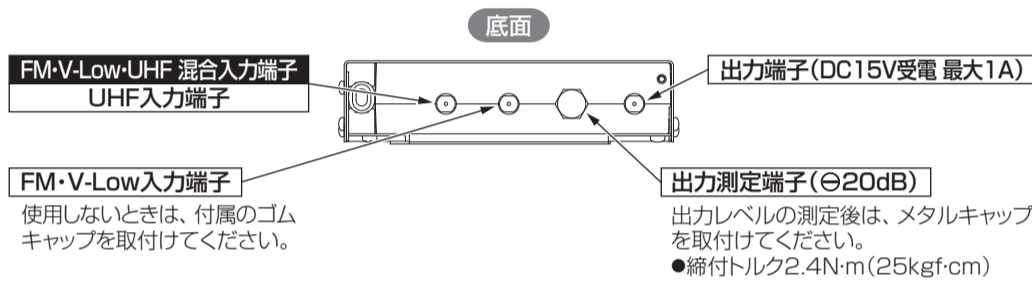
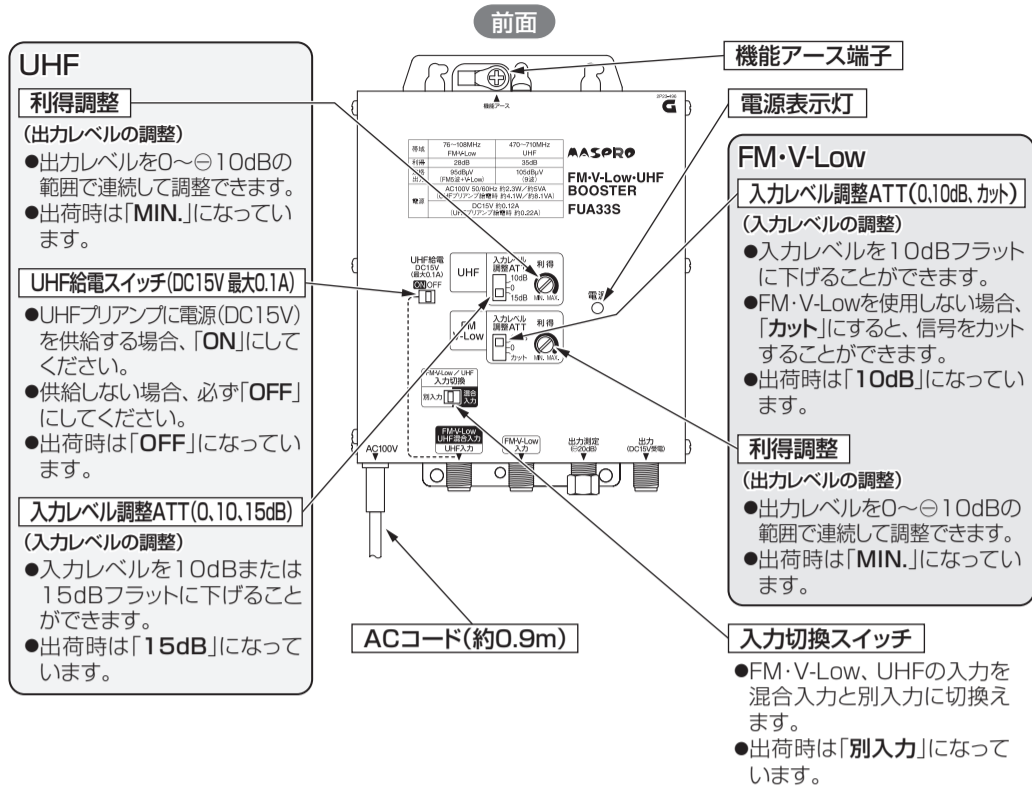
ご注意

- UHFプリアンプを接続しない場合、UHF給電スイッチを必ず「OFF」にしてください。「ON」にして接続すると、故障の原因となります。
- 7Cケーブルを接続するときは、必ずコンタクトピン付F型コネクタを使用してください。コンタクトピン付き以外では、故障の原因となります。

各部の名称と機能

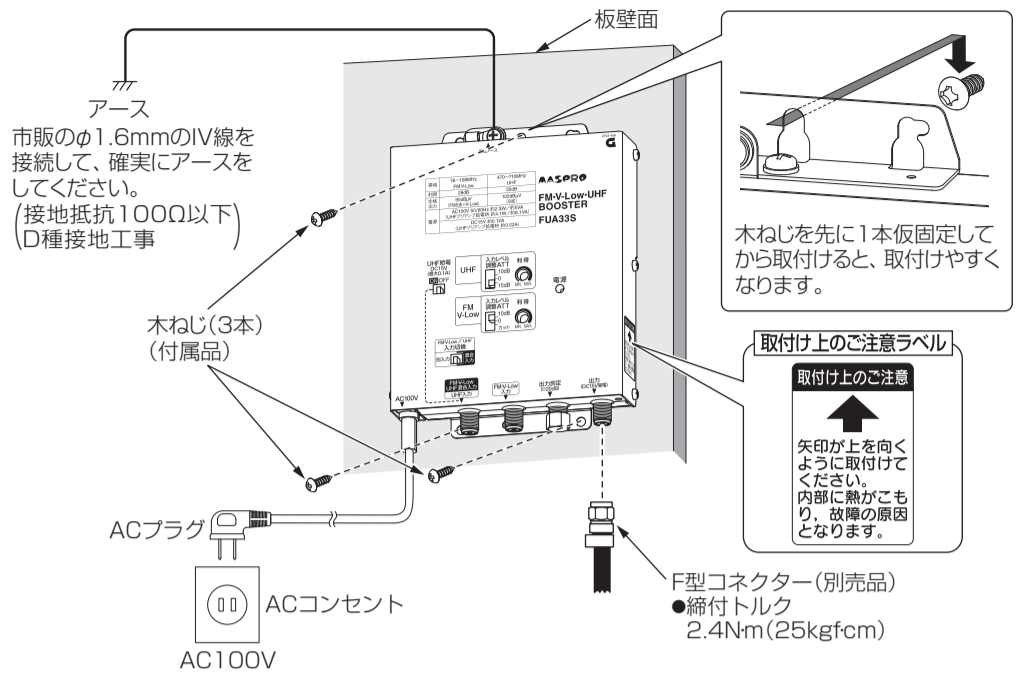
ご注意

- 利得調整を操作するときは、調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと、こわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎると、こわれることがあります。



取付方法

- 本器は屋内用です。雨水のかかる場所では、防水型の機器収容ボックスに設置してください。
- 75ΩケーブルはS5CFB相当以上のJISケーブル、F型コネクターはコンタクトピン付F型コネクターをお使いください。



ご注意

- 本器は、取付方法にしたがって正しく取付けてください。(本器側面に貼付けられている、「取付け上のご注意ラベル」の矢印が上を向くように取付けてください)
- 下記「2.信号の入力方法の選択とケーブルの接続」が終了するまで、本器に電源を供給しないでください。
- 75Ωケーブルを接続する前に、必ずアースをしてください。
- 本器は、内部に熱がこもらないように、グラスウールのような断熱材の上に置いたり、包んだりしないでください。
- 腐食性ガス(塩素、硫化水素、亜硫酸ガス、窒素酸化物、塩基性ガスなど)が発生する環境で本器を使用しないでください。
- 75Ωケーブルは電気配線と束ねて配線しないでください。また、強い電磁波を受ける場所を避けて設置してください。
- 設置場所は、メンテナンスに容易な場所を選定してください。
- ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつなぐことは、電気設備技術基準で禁じられています。

機器収容ボックスに設置するときの注意

- 本器を機器収容ボックスに設置するときは、機器収容ボックス内が製品の使用温度を超えないように、下記の点に注意してください。機器収容ボックス内が高温になると、故障の原因となります。
 - ・機器収容ボックスは、内部の温度が50°Cを超えるような場所に取付けないでください。
 - ・機器収容ボックスは、400(H)×400(W)×120(D)mm以上の大きさで、換気孔(開口部)のあるものを使用してください。[換気孔(開口部)をふさがないでください]
 - ・本器以外に発熱する機器を設置するときは、機器収容ボックスを大きなサイズにしてください。
 - ・本器は、高温にならないように、できるだけ機器収容ボックス内の低い位置に取付けてください。
- ビニルテープなどの腐食性ガスを発生するものを機器収容ボックス内で使用しないでください。
- 機器収容ボックスは、あらかじめアースをしてください。

調整方法

ご注意

実用入力レベルを超えた状態で動作させておくこと故障の原因となります。実用入力レベルの範囲内になるように調整してから、本器に電源を供給してください。

1.入力レベルの確認・調整

アンテナからのケーブルを、レベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーに接続して、入力レベルが下記の実用入力レベルの範囲内になっているか確認します。

実用入力レベル (最小入力レベル~最大入力レベル)	
FM・V-Low	UHF
46 ~ 67(77)dBμV	43 ~ 70(85)dBμV

- 本器を1台だけ使用するときの値です。
- ()内は入力レベル調整ATTを最大にしたときの実用入力レベルです。

入力レベルが最小入力レベルより低い場合

入力レベル調整ATTを「0dB」にして、以下の方法を行ってください。

- ①アンテナの方向を調整する
- ②高利得なアンテナに取換える。
- ③ケーブルをできるだけ短くする。

入力レベルが最大入力レベルより高い場合

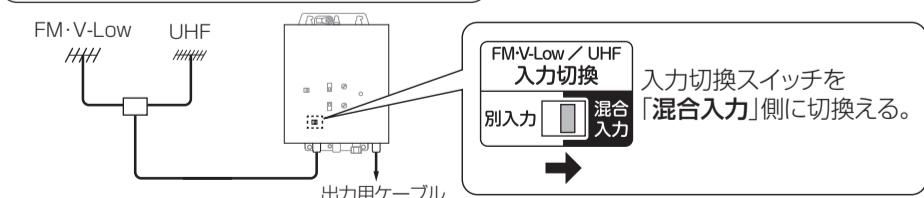
入力レベル調整ATTを「10dB」(または「15dB」)にしてください。

- それでも最大入力レベルを超えている場合、入力端子側に別売のアッテネーターを接続して、最大入力レベル以下になるようにしてください。

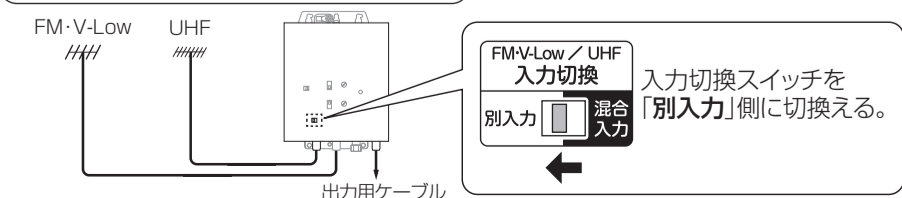
2.信号の入力方法の選択とケーブルの接続

- ①入力切換スイッチを使用環境によって切換えます。(出荷時の設定:「別入力」)
- ②入力端子にアンテナからのケーブルを接続します。
- ③出力端子に出力用ケーブルを接続します。

FM・V-Low、UHFを混合して入力する場合



FM・V-LowとUHFを別々で入力する場合



3.出力レベルの調整

- ①出力測定端子にレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーを接続します。
- ②出力測定端子のレベルが、FM・V-Low: 75dBμV以下、UHF: 85dBμV以下になるように、利得調整で調整します。(出荷時の設定:「MIN.」)
 - 測定値に20dBを加えた値が実際の出力レベルです。